

NEWS LETTER

総合政策学科

2026.5

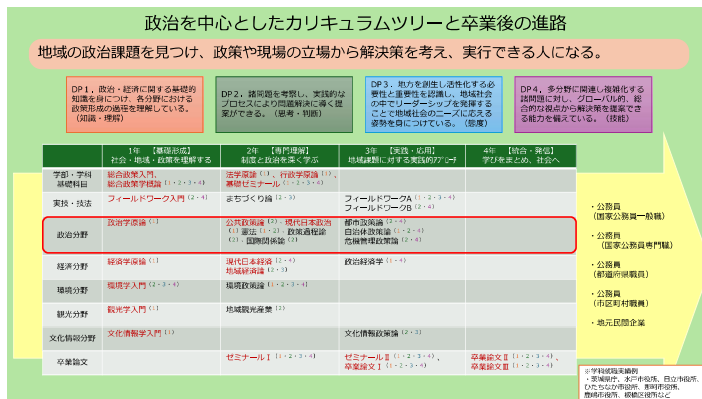
多角的に学び、幅広い未来へ。理論と実践をつなぐ総合政策学科。

学科の学び



政治学・経済学を中心とした社会科学の基礎を学びながら、「環境」「観光」「文化情報」へと学びを広げています。社会の仕組みを理解し、地域や現代社会の課題を一つの視点に限らず、多面的・多角的に考える力を養い、将来につながる実践力を育みます。

将来の目標がまだ定まっていない段階でも、自分の関心を探し育てる意欲を重視し、社会を多面的・多角的に捉える視野と、自ら進路を選び取る力を育てています。



例) 学科の学びと卒業後の進路 (政治系)

学科長挨拶

新緑の季節を迎え、大学での授業も徐々に本格化し始めています。今年の入学式では、下村学長が下村湖人の『次郎物語』の一節を引用されており、とても強く印象に残りました。私自身も、かつて亡き祖父の影響でこの本を読み、映画を観た記憶があります。

『次郎物語』の一部を私なりに現代的に解釈すれば、そこには、①様々な環境や苦しい時期があっても、後ろ向きになったり、ひがんだりするのではなく、考え、選び、学び直しながら人格をつくっていること、②良き教員や周囲の方々、友人との出会いが人を育てること、③時代や状況の圧力に流されず、自分の良心に従って判断し、生きること、が示されていたように思います。

不確実な現代においても、自分から学びアクセスし、どう生きるかを学生には考えてほしいと思います。

学科長 元木理寿

学生支援

4月6日、新入生ガイダンスを行いました。

元木学科長の挨拶、教員紹介の他、「先輩！大学生って実際どうなの？」と題し、在学生の協力を得て、学生生活の楽しさや難しさ、不安への向き合い方などを伝えてもらいました。

初めての試みでしたが、先輩との交流は好評でした。



新入生ガイダンスの様子

新任教員紹介

総合政策学科に新しい教員を迎えました。観光学を担当する、中国出身の何晨 (か・しん) 先生です。観光学は学生にも人気の学問です。

「みなさんは旅行が好きですか。観光街づくりに興味がある人も多いでしょう。観光学の醍醐味は、何といたってもフィールドワークです。教室での講義にとどまらず、実際に現地へ足を運ぶことで、街なかに眠る観光資源を再発見してみましょう。」 何晨

公務員合格実績（過去3年間）

【2023年度】茨城県日立市／茨城県笠間市／
茨城県常陸太田市／茨城県那珂市／茨城県警察本部

【2024年度】茨城県常陸太田市／茨城県那珂市／
茨城県阿見町／茨城県警察事務

【2025年度】国税庁／茨城県警察事務／茨城県龍ヶ崎市／
茨城県取手市／茨城県笠間市／茨城県ひたちなか市／
茨城県鹿嶋市／茨城県那珂市／茨城県行方市／
茨城県茨城町／福島県いわき市／福島県大熊町／
福島県双葉町／茨城県警察本部

2025年度の主な就職先

【公務】ひたちなか市役所／取手市役所／那珂市役所／
鹿嶋市役所／笠間市役所／茨城町役場／いわき市役所／
茨城県警察本部

【金融】中央労働金庫／常陽銀行／筑波銀行／
茨城県信用組合／茨城県信用農業協同組合連合

【農業協同組合】常陸農業協同組合／ほこた農業協同組合／
やさと農業協同組合

【商社】関彰商事 【医療・検診】茨城県総合検診協会

【情報通信】茨城新聞社 【住宅・建設】積水ハウス

【小売】ヨドバシカメラ／ケースホールディングス／
クスリのアオキ／山新

【観光】ダイワロイネットホテルズ、常磐興産

【鉄道】東武ステーションサービス

【製造】ヤマザキビスケット／日立ビルシステム／
日立産業制御ソリューションズ

【自動車】茨城トヨタ自動車／北関東マツダ／
トヨタレンタリース茨城／トヨタL&F茨城

【IT・オフィス機器】リコージャパン

【エネルギー・インフラ】原電エンジニアリング／
K&Oエナジーグループ／常磐共同火力

卒業生の声

「私は高校生のとき、特に政治経済分野について興味がありましたが、政策分野として地球の環境問題を考える環境系や、観光を通じたまちづくり手法を知る観光系、デジタルアーカイブの技法が身につく文化情報系なども学べることを知り、幅広い分野の知識を身に付けた上で職業選択ができるのではないかと思いついて入学を決めました。やりたいことがまだ見つからない人も、地域交流のある授業が充実しているので、知見を広げるきっかけにもなり、自分の新たな可能性を知ることができるのでおすすめの学科です」

2025年度卒 S・M
茨城県水戸桜ノ牧高等学校出身

【お問い合わせ先】

常磐大学 総合政策学部
総合政策学科 学科長

元木理寿 E-mail : motoki@tokiwa-u.ac.jp



PICK UP授業

【まちづくり論】

地域を取り巻く様々な課題に、住民やコミュニティ、地方自治体、国がどのように対応していくのかについて、理論と事例の両面から考えていきます。

2025年度に引き続き、水戸市都市計画課の職員をお呼びし水戸市の景観についての講義をしていただく予定です。その後、実際に水戸市内を歩き、水戸の景観や、地域課題について調べていきます。



職員による講義



ガイドウォーク

2025年度の様子

現場で知る環境

フィールドワークは、あらゆる場所がその舞台です。時には地下河川へも入り、水の流れと土地利用、人々の暮らしとのつながりを考えます。教室では見えにくい“環境のリアル”を、自分の目で確かめることができます（元木）。



♪オープンキャンパス♪

5月16日（土）

6月7日（日）

7月11日（土）

8月2日（日）

10月17日（土）・18日（日）